

2021 年度活動報告書



HWOL

障碍を持つすべての人の会

2022 年 10 月発行

役員代表よりご挨拶

2020年新型コロナウイルス感染症の感染拡大で世界がまん延しているなか、私たちHWOLは特に設立が同じ時期だったこともあって、自助会、イベント、セミナーなどが長期化により不定期でしか開催しておりませんでした。今年6月より「大和障害者お茶会」という障害を持つ人の自助会を毎月第2土曜日に開催し、障害者手帳を所持していない問わず障害を持っている人たちの居場所のための自助会を、HWOLが主催して運営しています。その他ボウリングイベントは、感染対策を施しながら8月に開催することもできました。そして11月、HWOL主催「障害を持つ人のための講演会」を開催することになり、障害を持っている人と持っていない人が共に暮らせる社会の発明家を目指す、第一歩を踏み出すこととなります。また、ロシアのウクライナ侵攻により世界情勢が不安定ななかで、私たちは人の生き方も含め、平和とは何なのだろうと私たちは改めて考えさせられる立場になってきているのではないのでしょうか？ HWOLは障害を持つ人たちと共に活動するなかで、共存社会を目指す課題はまさに世界情勢、いわゆる政治と経済は切っても切れない宿命であると思います。

役員代表 大宮 電器（春豚）

HWOL 障害を持つすべての人の会とは？

私たちの団体は、「障害を持つ人と持っていない人が共に暮らせる社会(共存社会)の発明家になる」を目標として活動をしている団体で、私たちは人の生き方の道を考え、お互いを自然に理解できるそんな場所、時間（イベント交流や障害を持つ人の自助会、セミナー等）を作ることを考えるための活動を企画し、障害を持つ人と持っていない人の共存社会を創る事を目的として設立しました。HWOL（ハウオル）は、Human Way of Life（人の生き方）の略称を指しています。

活動内容

- ◆ 障害を持つ人または持たない人が参加できるイベント、自助会、セミナー等の企画
- ◆ 外部のボランティア団体または自助会等のボランティア
- ◆ 情報発信（インターネットを利用し障害を持つ当事者からの啓発活動）
- ◆ 人間に関する心理及び障害研究

役員

役員代表：大宮 電器
代表代理：佐藤 太郎
アドバイザー：
社会福祉法人奈良県手をつなぐ育成会
なら障がい者就業・生活支援センター コンパス

加入者数（2022年10月1日現在）

- 10名（うち男性8人、女性2人）
- 役員 2名
 - アドバイザー 2名
 - スタッフ会員 3名
 - サポーター会員 3名

2021 年度収支決算報告

- 収入の部

勘定科目	金額	備考
賃借料	¥5,800	施設利用料 ¥300×16人=¥4,800、¥500×2人=¥1,000
雑収入	¥2,000	資料代 ¥200×5=1,000、¥500×2人=¥1,000
繰越金	¥7,250	2020年度繰越金
合計	¥15,050	

- 支出の部

勘定科目	金額	備考
賃借料	¥4,880	(公財) 奈良市生涯学習財団 中部公民館 (5回使用)
印刷製本費	¥2,490	複写代
保険料	¥3,000	ボランティア活動保険 2021年度 ¥1,200 (3口)、2022年度 ¥1,800 (4口)
合計	¥10,370	

2021 年度活動報告

	大和 Life サロン	Zoom 教室	スタッフミーティング
活動月	4 月	8 月	4 月、8 月、12 月 2022 年 2 月

※大和 Life サロンは 4 月以降、新型コロナウイルス感染症 感染拡大に伴い、長期間休止。再開した翌年 6 月をもって現在の「大和障害者お茶会」に併合

大和 Life サロンの開催風景 (zoom)



※加入者・参加者の写真顔写しの可否を確認したうえで載せています。

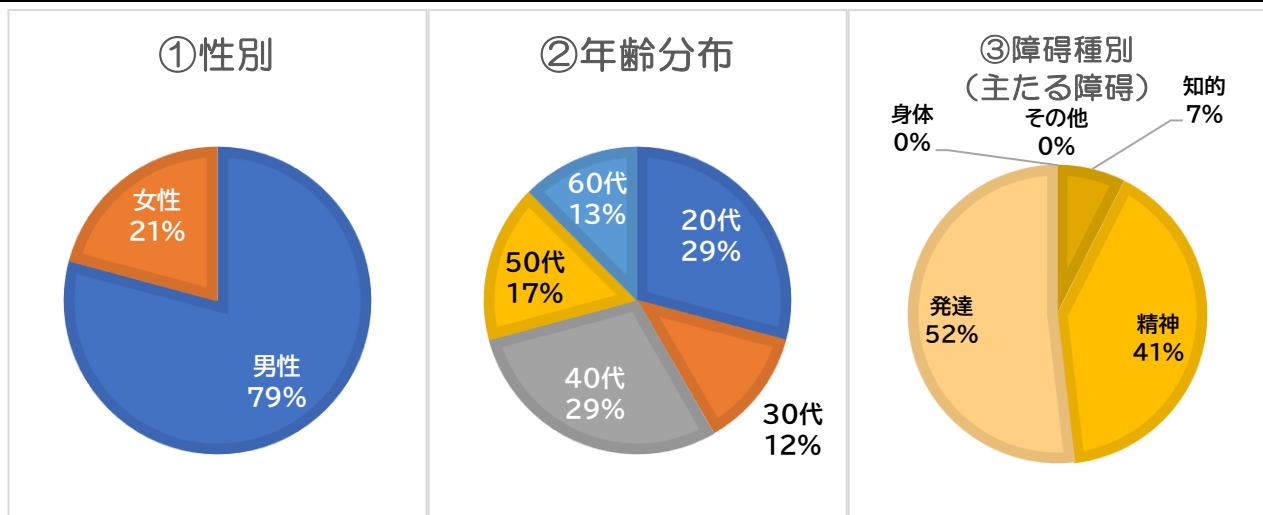
2021 年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大が長期化し、参加者の減少が多くみられた。特に夏季は、若年層も含め重症化しやすいと言われているデルタ株があり、中部公民館含め奈良市内の公民館やボランティアセンターなど、施設利用が 1 カ月程度休止したことで、zoom などのオンラインをせざるを得なくなっていました。しかし、オンラインよりメディアを扱える人やインターネットを利用することに抵抗している人が、発達や精神を持つ人が半数を超えていたことが明らかになりました。2023 年よりオンラインを兼ねた自助会やイベントを開催することで、外出を自主的に規制している人が参加できやすくなるでしょう。

障害を持つすべての人対象 就業・生活アンケート報告

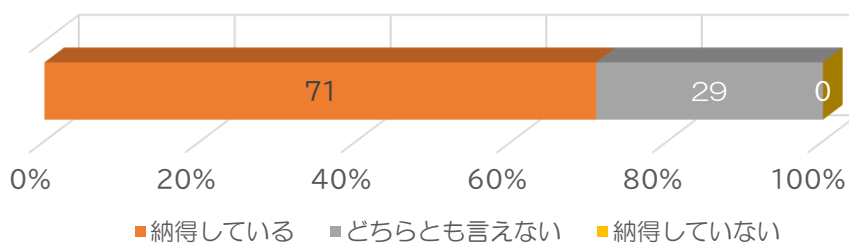
アンケート実施期間：2021年3月1日～5月5日

このアンケートは個人情報の保護に基づき、回答者様からのアドバイスや指摘等をいただいた情報は当会（HWOL 障害を持つすべての人の会 [旧 企画運営団体 Human Way of Life]）以外の目的では使用していません。なお、当会の公式ホームページやSNS、公演等で公表・使用をさせていただく場合は、個人情報や回答（内容含むは匿名で加工をさせていただいております。また当会が人間心理や障害研究のためデータを解析し、回答者からの提案や指摘も含め今後の企画（イベントや障害を持つ人の自助会、セミナー等）で当事者や障害福祉に従事する人（大学で専攻している人も含む）に広め、障害者と健常者が共に暮らせる社会を創る活動をしています。

回答いただいた方自身の状況

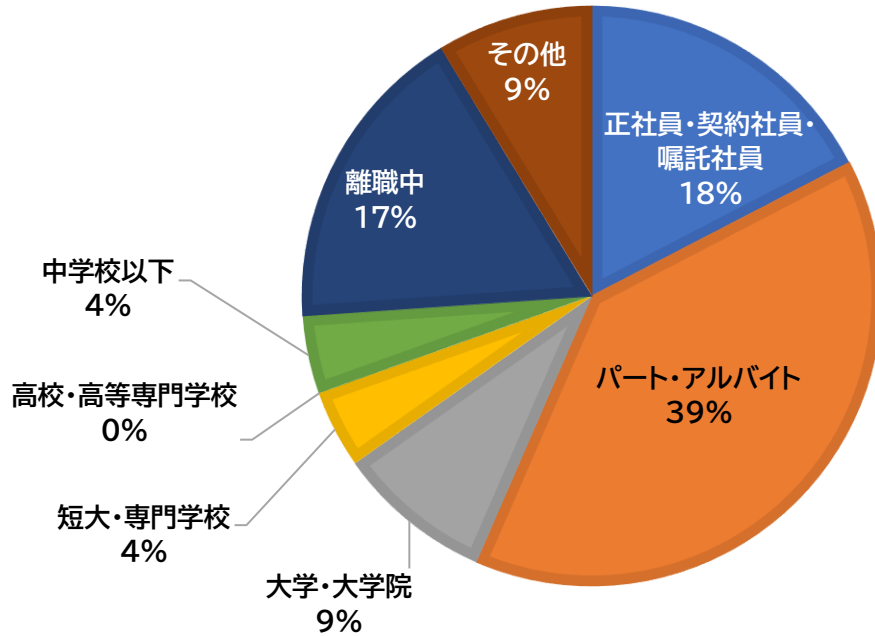


④現在の障害について納得しているか？

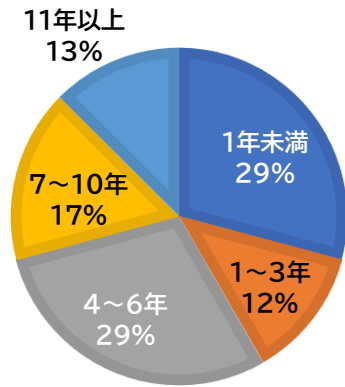


回答をいただいた方半数以上が奈良県で、精神や発達を持つ男性が多くみられました。また現在の障害について納得していると回答した方が全体の半数を超えていました。しかし、障害に関しては発達・精神を中心に人それぞれの見方がばらついている答えも目立っており、合理的配慮を求めた方は少なくありません。

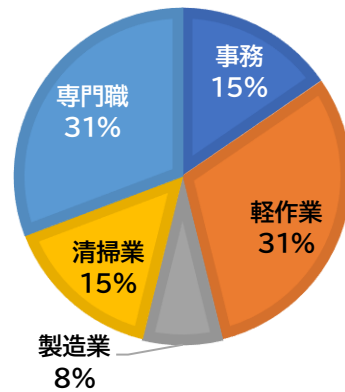
①在職・在学状況



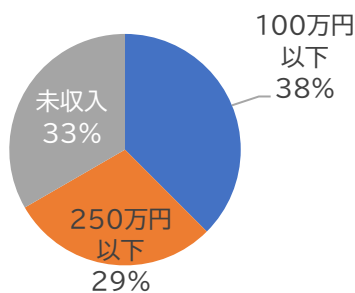
②在職または在学年数



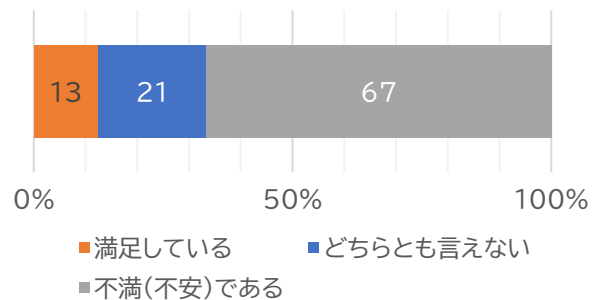
③職種分布（在学除く）



④年収



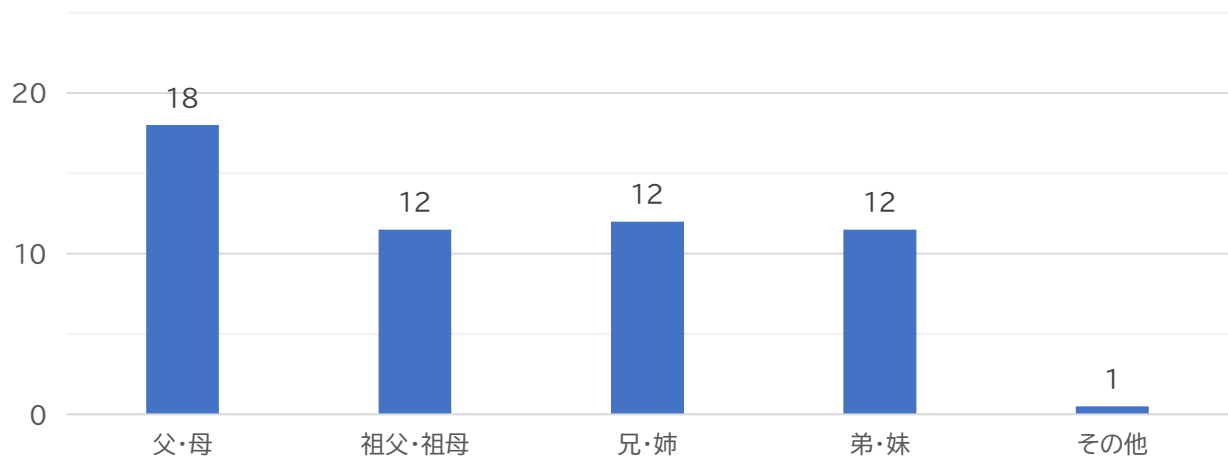
⑤年収（生活）としての満足度



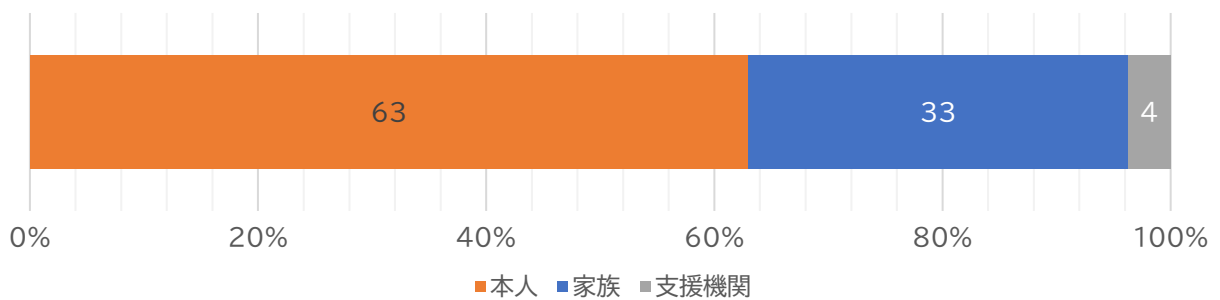
低取得の方が多く見られており年収としての不満（不安）が多いが、パート・アルバイトが正社員などの2倍以上で4年以上の勤務が多い結果になった。正社員などの人材不足によって、業務量だけでなく精神面の配慮が不足していると考えられます。

障害について

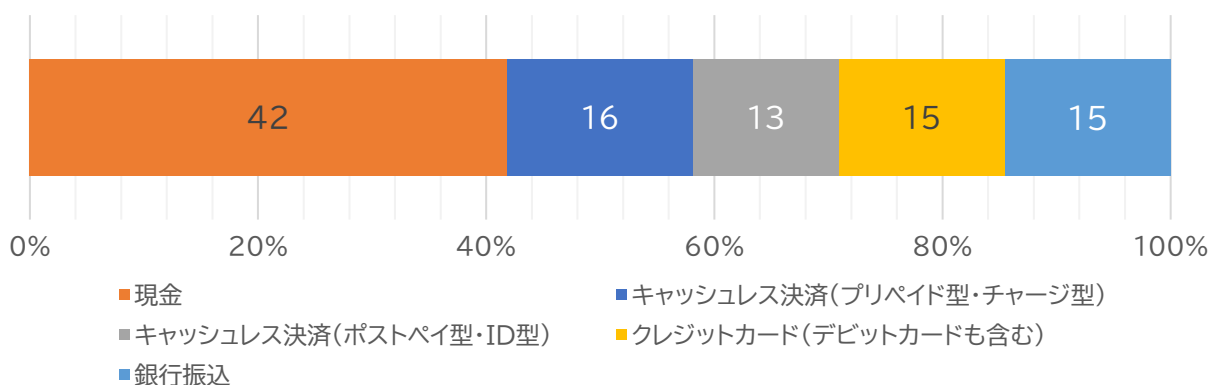
①自分の障害について知っている家族（単位：人）



②ご自身の金銭管理

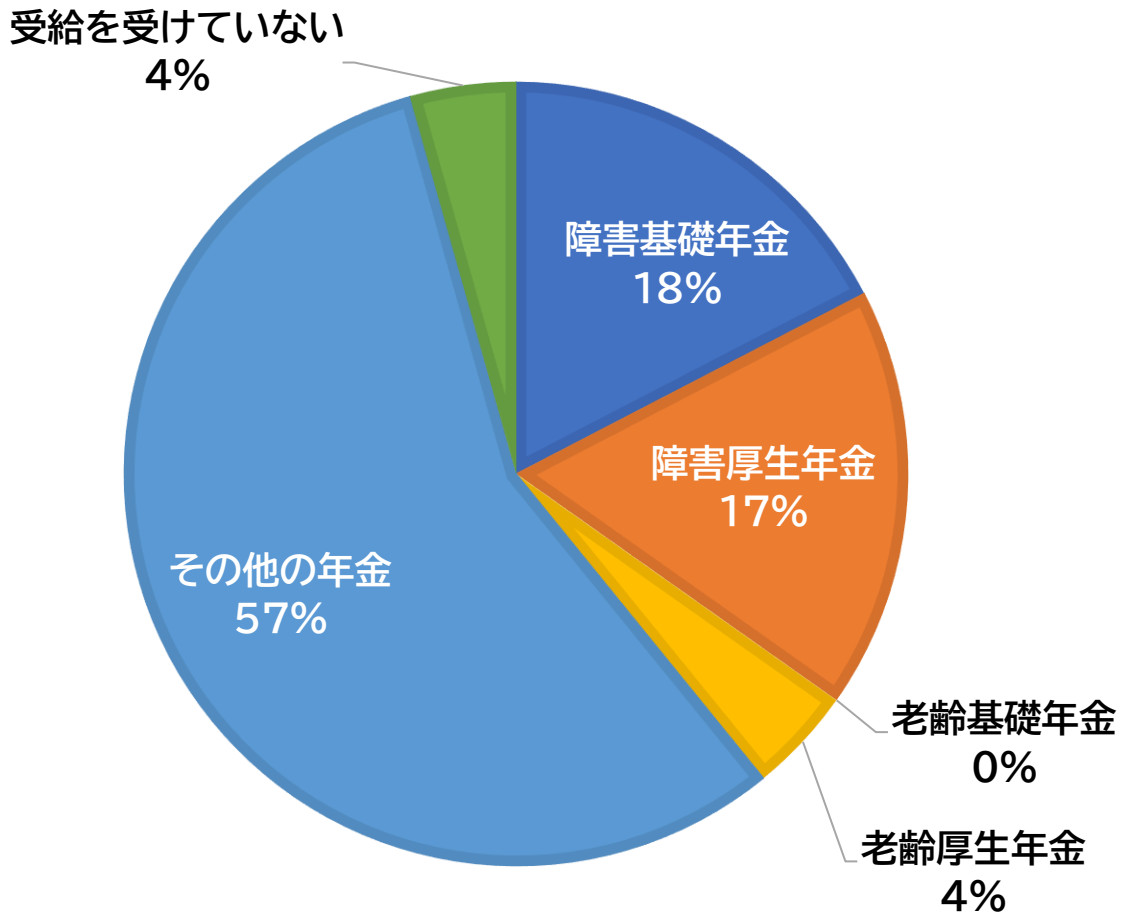


②ご自身が商品購入時に使用される支払方法

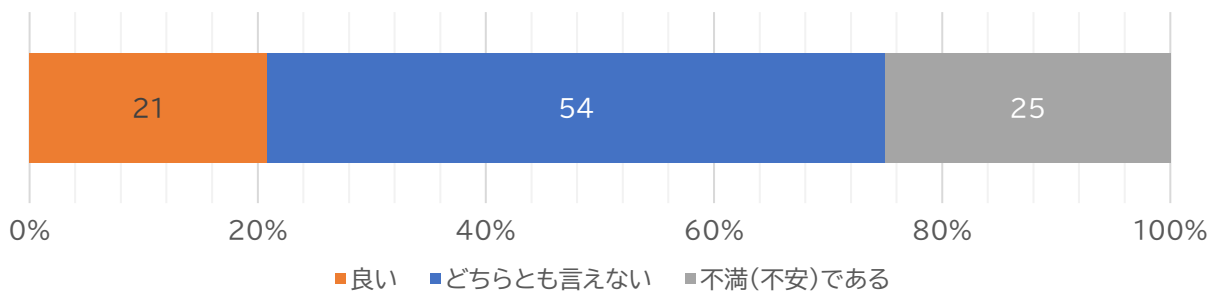


ご自身の障害について基本親が多く、所々兄弟姉妹もやや多いという結果です。また金銭管理では現金を除く決済方法を使用される方が半数を超えていました。さらに新型コロナウイルス感染症の影響で、巣ごもり需要が続いていた時期でも、支払管理が見れるようにリアルタイム化された機能が役立っていると考えられます。

①年金種別



②受給に対する現状について



老齢年金を除く 65 歳未満の方大半を超えて、障害年金の未受給またはその年金自体を存じていないことが考えられます。障害者手帳を所持しており、国民年金に加入している場合は障害年金を受給できる場合があります。但し勤務されている方が昨年の所得額によって障害年金の受給が変動することがあります。

まとめ

2020年に新型コロナウイルス感染症が拡大したことで、雇用打ち切りや内定取り消しなどで収入が途絶えたことが大きかったと思います。しかし障害者雇用を打ち切られたという回答は、アンケートの解析で目立ったことはありませんでしたが、新型コロナウイルス感染症が長期化している限り年収（生活）の不満足はこれから増えるでしょう。金銭管理では障害を持つ人自身が多く、さらに巣ごもり需要でキャッシュレス決済を利用されていたこと（2020年中半期に実施されたキャッシュレス決済ポイント還元）が考えられます。年金受給（特に障害年金）では、受けている方が非常に少なかったため、今後年金受給に関するセミナー開催を検討しなければなりません。2021年の新型コロナウイルス感染症が変異したデルタ株により、通常では高齢者や基礎疾患患者だけでなく若年層も重症しやすい時期があって活動を長期間見合わせ、2021年度の就業・生活アンケートを中止しました。そして、ロシアのウクライナ侵攻で世界情勢が不安定となり、円安ドル高、物価上昇はさらに人々を苦しむだけのシナリオになるでしょう。